

特許紹介

第20卷第12號 昭和15年12月

水素に依る岩石其他の爆破方法

(特許第147918號 發明者 櫻田武三郎)

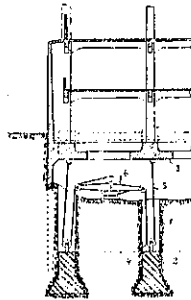
爆破に際し煙霧を發生することなく直ちに入坑し得、且取扱上危険のない方法の一として提案したものである。其の方法は、纖維質物にベントナイトの如き可塑性物質を混和して小徑より漸次大徑に移行する白墨狀に製造し、中心に導氣管を其の側部に導火装置線を埋ませしめ大徑端の凹部に彎曲十字枕棒を装着したものを岩石等の穿孔に嵌装し、前記氣管より水素及空氣の混合氣體を壓縮送入し發火せしむるのである。

地下室又は潜函等の構築物下降方法

(特許第137053號 發明者 木田保定)

地下室又は潜函等の構築物を下降せしむべき地面に豫め所要数の堅坑(1)を夫々掘鑿し其の底部に載荷力を有する基礎(2)を夫々構築し之等の上部地面上に設くる地下室又は潜函等の構築物を底面下の總掘りを行ひつゝ基礎上に降下せしめる際の改良工法で、堅坑中に基礎を支點とする構築物の牽引装置(4,5,6)を介入せしめて其の牽引に依り構築物の水平調整と水平支持及び降下工事の安全迅速を圖つたものである(圖-1)。

圖-1.



コンクリート管製造装置

(特許第137987號 發明者 日向淡松)

コンクリート、モルタル製品の製造法

(特許第137983號 發明者 井上壽市)

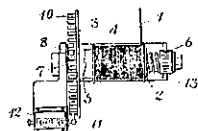
酢酸の稀薄液に任意の長さで切断せる棕桐毛又は椰子毛を浸し酸液を良く吸収させ、之をコンクリート中に加へて攪拌する方法で、混入植物纖維がコンクリート中のアルカリの爲侵蝕せられるのを防止したものである。

掘深掘速及び層厚測定試錐機

(特許第138015號 發明者 沼田辰吾)

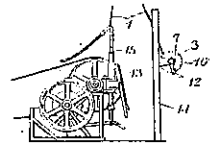
掘鑿深度、掘鑿速度及び層厚等の測定を迅速正確ならしめんが爲考慮したもの。即ち針金の如き線條(1)を捲胴(2)に捲付け、捲胴の前記線條の巻き戻し方向のみの回轉に應じて連動すべき回轉盤(3)の近く

圖-2.



に、其の回轉盤の回轉度合を表すべき計數機を取付け(圖-2)、前記線條(1)の一端を上方の滑車を経て試錐機に於ける掘鑿管(15)の適所に着脱し得るやう連結し、以て掘鑿管の全掘進の長さ又は或る區間に於ける掘進の長さを前記計數機によつて測知し得るやうにしたものである(圖-3)。

圖-3.



コンクリート用鐵線製枋

(特許第138001號 發明者 中西由造)

珪酸ソーダと硼砂及び鹽化第2鐵との混合物を任意の形狀(例へば壓錐型)に曲折形成せる鐵線材の表面に被着せしめたコンクリート用鐵線製枋であり、之に依り強度大なる土木建築用材又は金屬鑄物代用品を製作せんとするものである。圖-4は之に依る彫刻の一部切缺断面圖を示す。

圖-4



爆發式衝擊工具

(特許第138008號 發明者 櫻田武三郎)

本具は爆發氣筒と衝擊氣筒とを相隣接して一體と成さしめ、爆發氣筒による爆發排氣を衝擊氣筒に供給して該氣筒の吸鑄を前後に往復動せしめて鑿岩機の鑿等に衝擊を與へるもの。

曲線測量計算尺

(特許第138128號 發明者 木村達郎)

道路鐵道の曲線測量を行ふ場合には先づ路線の交角I.A.を測定し現地に適應せる任意の曲線半徑Rを選定して曲線始點中點及び終點の位置を測定する爲に曲線長C.L.切線長T.L.及び外線長S.L.を算出する要があり、之等の計算は從來曲線表に依りたるも、表は多く曲線半徑100米又10米の場合に限られたる爲他の任意の曲線半徑に對しては一々計算の要があつた。此の發明は此等C.L.,T.L.,S.L.を任意のI.A.及Rに對し即座に計算し得るやうに、固定尺上にRの對數尺を設け滑尺上にはC.L.,T.L.及びS.L.の對數尺の凡ての點に對應する如く交角の對數尺I.Ac., I.Ar.及I.As.尺を併設した計算尺である。

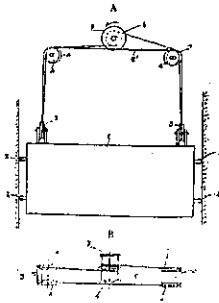
可動堰釣揚装置

(特許第138155號 發明者 渡邊善吉)

可動堰に生ずべき偏揚りを防止し之を左右平衡して

釣揚げんとするものである。従来、線の両端を別々のロープで釣り各ロープの一端を一定點に連結し他端を同一軸上の2個の捲胴に連結して扉の兩端に均等速度を與へるやうにしたものがあるが、これは扉を左右別々のロープで駆動するもの故各ロープの伸びの異なる場合を顧慮してターンバックルを設けて之に依り一々調節しなければならぬ、又左右のロープが捲胴に平に捲き付かずに重なり合ふ場合は扉體の平衡を保つ事が出来ぬ等の缺點があるが、此の發明はかかる缺點を次の如くにして除去したものである。即ち堰體の兩端に設けた釣滑車(3)及び水門上部に適宜定設した定滑車(4)を通じて一筋のロープ又はチェーン(5)を懸け其の兩端を等長に揃へて各別に同一軸上に設けた駆動装置(6)に捲き付けたものである(圖-5)。

圖-5.



打込に依る坑井掘鑿方法

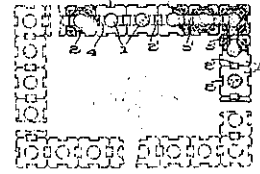
(特許第178113號 發明者 小松徳太郎)

(附)登録實用新案 船渠其の他の地下槽掘壁

(案第288013號 公告15年第6869號) 考案者 磯之政吉 實用新案權者 磯水組

海岸濕地等の比較的軟弱なる土地に適用して便なるもので、側面に誘導溝(2)が縦走り且つ誘導溝に開口する連絡路(3)を有する中空鐵筋コンクリート杭(A)を隣接して地中に埋設して杭の中空部及び誘導溝坑内にコンクリートを注入し隣接杭の連絡路にもコンクリートを充填せしめて構築したものの(圖-6)。

圖-6.



無音杭壓入装置

(案第28923號 公告15年第4869號) 考案者 小林秀彌

杭を無騒音裡に地中に埋設せんが爲に、杭上に乗せた滑車冠(8)と杭打櫓の脚部に設けた滑車(3)とに掛け合せたロープを捲上機に依り牽引して杭を地中に壓入する装置と、櫓の浮上りを防止せんが爲に、櫓の脚部を支點とする左右2個のブーム(5)を構着し之に適宜重量體(6)を吊下げてカウンターウェイトとする装置とを設けたもの(圖-7)。

圖-7.

